

登録日 2023/7/25

登録番号 Gas035

腫瘍名 胃がん

申請診療科 消化器外科

### 投与スケジュール

mFOLFOX6+Nivolumab					14日毎 × PDまで			
					1コース	2コース	...	(day)
					1	15		
①	生理食塩水 (プライミング用)	50 mL	点滴	5分	↓	↓		
②	オプジーボ 生理食塩水	240 mg 100 mL	点滴	30分	↓	↓		
③	生理食塩水 (オプジーボ用フラッシュ)	50 mL	点滴	5分	↓	↓		
④	デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴	15分	↓	↓		
⑤	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200 mg/m <sup>2</sup> 250 mL	点滴	120分	↓	↓		
⑥	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85 mg/m <sup>2</sup> 250 mL	⑤と同時に 点滴	120分	↓	↓		
⑦	フルオロウラシル 生理食塩水	400 mg/m <sup>2</sup> 50 mL	⑤、⑥終了後に 全開		↓	↓		
⑧	フルオロウラシル 生理食塩水	2400 mg/m <sup>2</sup>	⑦終了後に 46時間かけて インフューザーを用いて		↓	↓		
*フルオロウラシルの量にあわせて総量が変わります。								
⑨	生食注シリンジ ポート内洗浄 患者持ち帰り用	10 mL	静注		↓	↓		

### 注意事項

【適応】 原則、1次治療  
【投与延期、中止基準】 適正使用ガイド参照  
【調製上及び使用上の注意】  
・オプジーボはインラインフィルターを使用(0.2または0.22 μm)  
・CVポート等から投与する際、希釈後の最終濃度が1.9mg/mL以上になるよう調製し、投与時にこれ以上の濃度に希釈しないこと。薬剤投与前後にフラッシュを行うこと。  
・免疫チェックポイント阻害薬の運用フローを参照。

### 参考文献

1) Lancet, 398, 27-40 (2021).  
2) 最適使用推進ガイドライン ニボルマブ～胃癌～ 令和5年3月改訂版  
3) 添付文書  
(オプジーボ2023年6月改訂版、オキサリプラチン2020年1月改訂版、レボホリナート2022年4月改訂版、フルオロウラシル2023年7月改訂版)